

(シラバス No.9) (専門科目(共通領域))

科目名	ファシリテーション特論	単位数	2単位	科目コード	A2
	Advanced Seminar on Facilitation	形態	選択		
		担当教員	三田地 真実	教職	-

【授業概要】

教育界のみならず、現代社会における複雑な問題を解決するためには、多様な立場（多職種、多機関）の人々がチームを組んで、あるいは話し合いの場を持って臨むことは必須の事態であり、様々な領域において「連携・協働」の重要性が認識されている。しかし、実際には、意味ある話し合いの場が展開できずに苦慮している場合も少なくない。本特論では、今後の教育課題のみならず、広く問題解決のために人が集って話し合いを行っていくためには必須の「ファシリテーション」について深く探求し、実践できることを狙いとしている。

【授業の到達目標】

本特論を受講した後に習得できる具体的な行動目標は以下の通り：

- ① 場づくりの技法としてのファシリテーションについて、そもそもの意義が理解できる
- ② 話し合いの基礎となる、コミュニケーションの基本を体得できる
- ③ 場づくりの基本的な技法を獲得できる
- ④ 実際にワークショップ・ワークショップ型の話し合いを企画・実施できる

【授業計画】 講義と演習の組み合わせで実施する。

1. オリエンテーション（共生社会の構築とファシリテーションの重要性）
2. ファシリテーションとは何か（場づくりの技法とその意義）
3. ファシリテーター（ファシリテーションを行う人）のマインドについて
4. ファシリテーションの3つの段階（事前準備・本番・フォローアップ）の概要
5. ファシリテーションを活かすためのコミュニケーション基礎（非言語的な側面）
6. ファシリテーションを活かすためのコミュニケーション基礎（言語的な側面）
7. ファシリテーション事前準備の段階（空間のデザイン、参加者の概要など）
8. ファシリテーション事前準備の段階（プログラムデザインを中心に）
9. ファシリテーション本番の段階（アイスブレイク、グループワークのノウハウなど）
10. ファシリテーション・フォローアップの段階（PDCA サイクルなど）
11. ワorkshop・プレゼンテーション（受講生によるプレゼンテーション）
－事前準備に焦点を当てて－
12. ワorkshop・プレゼンテーションの振り返り（事前準備に焦点を当てて）
13. ワorkshop・プレゼンテーション（受講生によるプレゼンテーション）
－本番とフォローアップに焦点を当てて－
14. ワorkshop・プレゼンテーションの振り返り（本番とフォローアップに焦点を当てて）
15. 授業のまとめ（授業自体のフィードバック・ワークショップ）

【評価方法】

「授業内で課すレポート評価」（50%）、「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価する。

【教科書】

三田地真実『ファシリテーター行動指南書』（ナカニシヤ出版、2013）
中野民夫・三田地真実編著『ファシリテーションで大学が変わる-アクティブ・ラーニングにいのちを吹き込むには【大学編】』（ナカニシヤ出版、2016）

【参考図書】

Justice, T. *The Facilitator's Fieldbook. (3rd Ed.)* (American Management Association: New York., 2012)
亀田達也『合議の知を求めて～グループの意思決定』（共立出版、1997）
三田地真実『特別支援教育連携づくりファシリテーション』（金子書房、2007）
中野民夫・三田地真実編著『ファシリテーションで学校が変わる-先生はファシリテーター【小中学校編】』（ナカニシヤ出版、印刷準備中）